



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 株式会社 アドバンテスト

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前四半期純利益 | | 当社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|---|-----------|---|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 64,460 | 23.7 | △2,283 | — | △4,673 | — | △4,539 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 52,093 | 177.5 | 4,740 | — | 4,107 | — | 2,593 | — |

(注) 四半期包括利益 24年3月期第2四半期 △10,979百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △919百万円 (—%)

| | 1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益 | 希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益 |
|-------------|----------------------|--------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | △26.20 | △26.20 |
| 23年3月期第2四半期 | 14.59 | 14.59 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 資本合計(純資産) | 株主資本 | 株主資本比率 |
|-------------|---------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 228,904 | 127,574 | 127,574 | 55.7 |
| 23年3月期 | 180,312 | 138,132 | 138,132 | 76.6 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

現時点では期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、開示が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社の事業は、半導体用テストシステムが主力であり、半導体メーカー、テストハウスおよびファウンドリーの設備投資に大きく依存しております。これらの設備投資は、主に半導体に対する現在および将来の需給の動向などによって決定されます。現時点では、半導体の需給動向や半導体関連の設備投資の動向を見通すことが困難であるため、通期の業績予想については開示しておりません。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Verigy Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P4、「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P4、「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注)詳細は、添付資料P4、「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 24年3月期2Q | 199,566,770 株 | 23年3月期 | 199,566,770 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 24年3月期2Q | 26,294,900 株 | 23年3月期 | 26,294,819 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期2Q | 173,271,864 株 | 23年3月期2Q | 177,679,225 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されております。

添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 4 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | P. 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 4 |
| (2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用 | P. 4 |
| (3) 会計方針の変更 | P. 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表等 | P. 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P. 8 |
| (3) 四半期連結包括利益計算書 | P. 10 |
| (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 11 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | P. 12 |
| (6) セグメント情報 | P. 12 |
| (7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の状況（単位：億円）

| | 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 前年同期比 |
|-----------|-------------------------------|-------------------------------|-------|
| 受注高 | 541 | 660 | 22.1% |
| 売上高 | 521 | 645 | 23.7% |
| 営業利益 | 47 | △23 | — |
| 税引前四半期純利益 | 41 | △47 | — |
| 四半期純利益 | 26 | △45 | — |

当第 2 四半期連結累計期間における世界経済は、ギリシアの財政危機に連鎖して欧州諸国の信用不安が増大しました。またこれに端を発した、景気先行きへの不安と消費者需要の不振が、先進国を中心に拡大しました。

これを受けて、電子機器市場では、パソコンや液晶テレビで需要が沈滞化したほか、高成長が期待されていたスマートフォンやタブレット端末などでも、一部の品種を除き期待ほど需要が伸びませんでした。これら最終製品需要の減速の流れを受け、多くの半導体メーカーでは在庫調整を進めるとともに、景気の先行きへの懸念から、新規の設備投資に対して慎重な姿勢を維持しました。

このような厳しい環境の中でも、当社は、顧客の設備投資の機を逃さず拡販に努めるとともに、シェア向上に邁進したことで、受注・売上の双方とも前年同期より成績を伸ばしました。

また当社は、これまでの経営課題であった非メモリ半導体用テストシステム分野の強化を図るべく、昨年度より進めてきた Verigy Ltd.（以下、Verigy 社）の買収作業を、2011 年 7 月に完了しました。本買収の完了により、当社は、非メモリ半導体用テストシステム分野での大きなシェア向上を果たすとともに、今後のグローバル成長基盤を獲得しています。Verigy 社の業績は、第 2 四半期より連結経営成績への計上を開始しており、これも受注・売上の伸長に寄与しています。

以上の結果、受注高 660 億円（前年同期比 22.1% 増）、売上高 645 億円（同 23.7% 増）となりました。利益面では、Verigy 社との統合関連費用として 41 億円を第 2 四半期に計上したため、営業損失が 23 億円となりました。また、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券評価損 13 億円を第 2 四半期に計上したことなどにより、税引前四半期純損失 47 億円、四半期純損失 45 億円となりました。海外売上比率は 88.2%（前年同期 80.8%）です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

（単位：億円）

| | 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 前年同期比 |
|------|-------------------------------|-------------------------------|--------|
| 受注高 | 387 | 546 | 40.9% |
| 売上高 | 360 | 497 | 38.1% |
| 営業利益 | 56 | 41 | △25.8% |

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム分野が、新型 MPU 量産に向けた受注案件に牽引され堅調な結果となったことで、全体として業績が伸長しました。メモリ半導体用テストシステム分野は、DRAM 価格の大幅な下落に伴い、期の後半は新規の受注が減少しております。なお、Verigy 社の主に通信用半導体市場に向けたテストシステムの受注・売上が、第 2 四半期より追加計上されています。

以上により、当部門の受注高は 546 億円（前年同期比 40.9% 増）、売上高は 497 億円（同 38.1% 増）、営業利益は 41 億円（同 25.8% 減）となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

| | 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 前年同期比 |
|------|-------------------------------|-------------------------------|--------|
| 受注高 | 95 | 75 | △21.3% |
| 売上高 | 97 | 101 | 4.0% |
| 営業利益 | 2 | △3 | — |

当部門では、円高による海外競合企業との厳しい競合環境のほか、第 2 四半期以降の DRAM メーカー各社での新規設備投資抑制を受けて、テスト・ハンドラやデバイス・インタフェース製品が振るいませんでした。

以上により、当部門の受注高は 75 億円（前年同期比 21.3%減）、売上高は 101 億円（同 4.0%増）、営業損失は 3 億円となりました。

<サービス他部門>

(単位：億円)

| | 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 | 前年同期比 |
|------|-------------------------------|-------------------------------|--------|
| 受注高 | 67 | 72 | 7.8% |
| 売上高 | 72 | 78 | 7.8% |
| 営業利益 | 13 | 1 | △90.5% |

各種電子機器の需要後退に伴う顧客各社での稼働率低下により、当社製品に対するサービスおよびメンテナンス需要も伸び悩みました。しかし、Verigy 社のサービス部門が第 2 四半期より連結業績に加わったことで、受注・売上が増加しました。

以上により、当部門の受注高は 72 億円（前年同期比 7.8%増）、売上高は 78 億円（同 7.8%増）、営業利益は 1 億円（同 90.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期末の総資産は、前年度末比 486 億円増加し、2,289 億円となりました。この主な要因は、Verigy 社を統合したことにより、のれんおよび無形資産が、それぞれ 338 億円および 155 億円増加したことなどによるものであります。負債合計は短期借入金、買掛金、および未払費用が、それぞれ 403 億円、73 億円および 36 億円増加したことなどにより、前年度末比 592 億円増加し、1,013 億円となりました。また、株主資本は 1,276 億円となり、株主資本比率は前年度末比 20.9 ポイント減少し、55.7%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第 2 四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より 108 億円減少し、645 億円となりました。当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失（△45 億円）を計上しましたが、買掛金の増加（56 億円）および減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、42 億円の収入（前年同期は、27 億円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、369 億円の支出（前年同期は、135 億円の支出）となりました。これは主に、子会社買収による支出（△571 億円）および短期投資の減少（137 億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、264 億円の収入（前年同期は、112 億円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加（411 億円）および転換社債の償還による支出（△138 億円）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最終製品の需要弱含みが続いていることと、世界的な景気先行きの不透明感から、当社の業績の見通しも予測が困難な状況にあります。しかし、マクロ経済の浮揚と、それに伴う電子機器の需要回復が促進され次第、各半導体メーカーの投資意欲は回復傾向に転じるものと思われまます。加えて、スマートフォンやタブレット型端末など各種先端情報機器に搭載される半導体は、高機能化・高速化・低消費電力化の流れが進展しており、これらの対応に強みを持つ当社の半導体テストシステムの需要への追い風となるものと期待されます。

7月のVerigy社の買収により、当社は、豊富なテストソリューション、グローバルな顧客サービス網および先端的な研究開発体制、半導体業界を網羅した顧客ベースなど、半導体テストシステム業界随一の事業基盤を有することとなりました。今後は、この充実した経営資源の活用に注力し、半導体試験装置分野だけでなく、その周辺事業や新規事業の開拓を推進することで、持続的な成長と企業価値の増大に取り組んでまいります。

その具体的な中期の経営目標として、「売上高2,500億円」「営業利益率20%以上」「半導体テストシステムおよびテスト・ハンドラの合計シェア50%以上」の3点を掲げ、2014年度での達成を目指し活動してまいります。

まずは、これら目標達成に不可欠となる、機動的なグローバル・オペレーション基盤の強化を目的として、Verigy社を含む海外子会社の再編成を今年度中に完了する予定です。これにより、両社の技術的長所の融合と業務効率の向上を加速させ、顧客基盤の拡大と顧客満足度の一層の向上を図ってまいります。

なお通期の連結業績予想につきましては、表紙（サマリー情報）に記載のとおり開示しておりませんが、業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表する予定です。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新規 1社：Verigy社

平成23年7月4日に、当社は、米国上場企業であるVerigy社の普通株式全株を1株当たり現金15米ドルにて取得する手続を完了し、完全子会社化しました。

(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更

平成21年10月に、米国財務会計基準審議会は、複数の製品・サービスの提供契約に関する収益認識の基準を改訂しました。当該基準は、収益認識における複数の製品・役務の提供契約に関する収益の配分条件を改訂しております。当該基準は、販売者特有の客観的証拠と第三者が提供できる証拠のいずれもが入手不可能な場合に、見積り販売価格で収益の配分を決めることを規定しております。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテスト）は、当第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

平成21年10月に、米国財務会計基準審議会は、ソフトウェアの収益認識に関する基準を改訂しました。当該基準は、ソフトウェア組込機器製品の収益認識に関する会計処理を改訂しており、ソフトウェア収益認識基準の対象範囲から機器製品に関するソフトウェアを除外できるかどうかの指針を規定しております。アドバンテストは、当第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営

成績および財政状態への重要な影響はありません。

有形固定資産の減価償却方法について、従来、当社および国内子会社においては主に定率法により、海外子会社においては定額法により計算しておりましたが、当社および国内子会社は、平成 23 年 4 月 1 日より、減価償却方法を定額法に変更しております。当該変更の結果、全体として減価償却方法は定額法に統一されました。

当社は、近年の経営環境およびプロダクトミックスの変化を受けて、有形固定資産を使用した将来の生産計画ならびにメモリ半導体用テストシステムおよび非メモリ半導体用テストシステムの売上構成を分析しました。当該分析の結果、今後重要性が増すと見込まれた非メモリ半導体テストシステムビジネスの収益と有形固定資産の使用の関連をより適切に反映し、原価配分をより適切に収益に対応させる定額法が、望ましい方法であると判断しました。なお、ASC250「会計上の変更および誤謬の訂正」に準拠し、この減価償却方法の変更は見積りの変更として将来にわたって適用され、遡及修正はしておりません。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第 2 四半期連結累計期間の税引前四半期純利益および四半期純利益はそれぞれ 286 百万円、当第 2 四半期連結会計期間の税引前四半期純利益および四半期純利益はそれぞれ 141 百万円増加しております。また、当第 2 四半期連結累計期間の基本的 1 株当たり四半期純利益および希薄化後 1 株当たり四半期純利益はそれぞれ 1.65 円、当第 2 四半期連結会計期間の基本的 1 株当たり四半期純利益および希薄化後 1 株当たり四半期純利益はそれぞれ 0.82 円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度末 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) |
|----------------|--------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金および現金同等物 | 75,323 | 64,538 |
| 短期投資 | 12,651 | 624 |
| 売上債権（貸倒引当金控除後） | 22,707 | 24,487 |
| 棚卸資産 | 23,493 | 35,372 |
| その他の流動資産 | 2,995 | 9,591 |
| 流動資産合計 | 137,169 | 134,612 |
| 投資有価証券 | 7,432 | 5,679 |
| 有形固定資産（純額） | 31,878 | 32,685 |
| 無形資産（純額） | 874 | 16,406 |
| のれん | 645 | 34,406 |
| その他の資産 | 2,314 | 5,116 |
| 資産合計 | 180,312 | 228,904 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度末 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) |
|------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 買掛金 | 11,729 | 19,001 |
| 短期借入金 | — | 40,330 |
| 未払費用 | 7,329 | 10,966 |
| 製品保証引当金 | 1,754 | 2,193 |
| 前受金 | 1,740 | 3,011 |
| その他の流動負債 | 1,955 | 4,855 |
| 流動負債合計 | 24,507 | 80,356 |
| 未払退職および年金費用 | 14,069 | 16,806 |
| その他の固定負債 | 3,604 | 4,168 |
| 負債合計 | 42,180 | 101,330 |
| 契約債務および偶発債務 | | |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 32,363 | 32,363 |
| 資本剰余金 | 40,628 | 41,914 |
| 利益剰余金 | 183,009 | 177,604 |
| その他の包括利益(△損失)累計額 | △ 18,270 | △ 24,710 |
| 自己株式 | △ 99,598 | △ 99,597 |
| 資本合計 | 138,132 | 127,574 |
| 負債および資本合計 | 180,312 | 228,904 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 52,093 | 64,460 |
| 売上原価 | 26,814 | 34,199 |
| 売上総利益 | 25,279 | 30,261 |
| 研究開発費 | 10,338 | 13,824 |
| 販売費および一般管理費 | 10,201 | 18,720 |
| 営業利益 (△損失) | 4,740 | △ 2,283 |
| その他収益 (△その他費用) | | |
| 受取利息および受取配当金 | 200 | 185 |
| 支払利息 | △ 2 | △ 66 |
| その他 | △ 831 | △ 2,509 |
| その他収益 (△その他費用) 合計 | △ 633 | △ 2,390 |
| 税引前四半期純利益 (△損失) | 4,107 | △ 4,673 |
| 法人税等 | 1,505 | △ 169 |
| 持分法投資利益 (△損失) | △ 9 | △ 35 |
| 四半期純利益 (△損失) | 2,593 | △ 4,539 |

(単位：円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 (△損失) | | |
| 基本的 | 14.59 | △ 26.20 |
| 希薄化後 | 14.59 | △ 26.20 |

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 28,558 | 37,612 |
| 売上原価 | 14,873 | 20,433 |
| 売上総利益 | 13,685 | 17,179 |
| 研究開発費 | 5,397 | 8,038 |
| 販売費および一般管理費 | 5,361 | 12,208 |
| 営業利益 (△損失) | 2,927 | △ 3,067 |
| その他収益 (△その他費用) | | |
| 受取利息および受取配当金 | 83 | 68 |
| 支払利息 | △ 1 | △ 65 |
| その他 | △ 531 | △ 1,987 |
| その他収益 (△その他費用) 合計 | △ 449 | △ 1,984 |
| 税引前四半期純利益 (△損失) | 2,478 | △ 5,051 |
| 法人税等 | 674 | △ 177 |
| 持分法投資利益 (△損失) | 1 | △ 11 |
| 四半期純利益 (△損失) | 1,805 | △ 4,885 |

(単位：円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 (△損失) | | |
| 基本的 | 10.22 | △ 28.19 |
| 希薄化後 | 10.22 | △ 28.19 |

(3) 四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 四半期純利益 (△損失) | 2,593 | △ 4,539 |
| その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後) | | |
| 為替換算調整勘定 | △ 3,412 | △ 6,084 |
| 純未実現有価証券評価損益 | | |
| 当期発生純未実現損益 | △ 462 | 240 |
| 控除 純実現損益の再分類調整 | 222 | △ 685 |
| 純未実現損益 | △ 240 | △ 445 |
| 年金債務調整 | 140 | 154 |
| 未実現デリバティブ評価損益 | — | △ 65 |
| その他の包括利益 (△損失) 合計 | △ 3,512 | △ 6,440 |
| 四半期包括利益 (△損失) | △ 919 | △ 10,979 |

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月 1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 四半期純利益 (△損失) | 1,805 | △ 4,885 |
| その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後) | | |
| 為替換算調整勘定 | △ 919 | △ 5,523 |
| 純未実現有価証券評価損益 | | |
| 当期発生純未実現損益 | △ 210 | 454 |
| 控除 純実現損益の再分類調整 | 218 | △ 685 |
| 純未実現損益 | 8 | △ 231 |
| 年金債務調整 | 70 | 76 |
| 未実現デリバティブ評価損益 | — | △ 65 |
| その他の包括利益 (△損失) 合計 | △ 841 | △ 5,743 |
| 四半期包括利益 (△損失) | 964 | △ 10,628 |

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 四半期純利益(△損失) | 2,593 | △ 4,539 |
| 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整 | | |
| 減価償却費 | 2,018 | 2,877 |
| 繰延法人税等 | 351 | △ 233 |
| ストック・オプションによる報酬費用 | 55 | 218 |
| 投資有価証券評価損 | 420 | 1,345 |
| 売上債権の増減(△増加) | △ 10,344 | △ 1,344 |
| 棚卸資産の増減(△増加) | △ 5,937 | △ 1,768 |
| 買掛金の増減(△減少) | 7,218 | 5,638 |
| 未払費用の増減(△減少) | 1,485 | △ 129 |
| 製品保証引当金の増減(△減少) | △ 278 | 247 |
| 未払退職および年金費用の増減(△減少) | 174 | 61 |
| その他 | △ 451 | 1,820 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー 計 | △ 2,696 | 4,193 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期投資の増減(△増加) | △ 12,309 | 13,744 |
| 売却可能有価証券の売却による収入 | 6 | 9,762 |
| 子会社買収額(取得現金控除後) | - | △ 57,145 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 | 76 |
| 有形固定資産の購入額 | △ 1,140 | △ 3,293 |
| 無形資産の購入額 | △ 127 | △ 143 |
| その他 | 94 | 50 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー 計 | △ 13,473 | △ 36,949 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増加 | - | 41,146 |
| 転換社債の償還による支出 | - | △ 13,830 |
| 自己株式の取得による支出 | △ 10,266 | △ 1 |
| 配当金の支払額 | △ 894 | △ 865 |
| その他 | 0 | △ 7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー 計 | △ 11,160 | 26,443 |
| 現金および現金同等物に係る換算差額 | △ 2,047 | △ 4,472 |
| 現金および現金同等物の純増減額(△減少) | △ 29,376 | △ 10,785 |
| 現金および現金同等物の期首残高 | 96,439 | 75,323 |
| 現金および現金同等物の四半期末残高 | 67,063 | 64,538 |

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

| 単位：百万円 | | | | | |
|--|---------------------|-------|-------------|---------|--------|
| 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | | | | | |
| 半導体・ 部品テスト システム事業 | メカトロ ニクス 関連事業 | サービス他 | 消去または 全社 | 合計 | |
| 外部顧客に対する売上高 | 35,216 | 9,686 | 7,191 | - | 52,093 |
| セグメント間の内部売上高 | 771 | 4 | - | △ 775 | - |
| 売上高 | 35,987 | 9,690 | 7,191 | △ 775 | 52,093 |
| 調整前営業利益 (△損失) | 5,586 | 225 | 1,346 | △ 2,362 | 4,795 |
| (調整) ストック・オプション費用 | | | | | 55 |
| 営業利益 (△損失) | | | | | 4,740 |

| 単位：百万円 | | | | | |
|--|---------------------|--------|-------------|---------|---------|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | |
| 半導体・ 部品テスト システム事業 | メカトロ ニクス 関連事業 | サービス他 | 消去または 全社 | 合計 | |
| 外部顧客に対する売上高 | 46,664 | 10,041 | 7,755 | - | 64,460 |
| セグメント間の内部売上高 | 3,038 | 34 | - | △ 3,072 | - |
| 売上高 | 49,702 | 10,075 | 7,755 | △ 3,072 | 64,460 |
| 調整前営業利益 (△損失) | 4,144 | △ 321 | 128 | △ 6,016 | △ 2,065 |
| (調整) ストック・オプション費用 | | | | | 218 |
| 営業利益 (△損失) | | | | | △ 2,283 |

単位：百万円

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日) | | | | |
|-------------------|--|---------------------|-------|-------------|--------|
| | 半導体・ 部品テスト システム事業 | メカトロ ニクス 関連事業 | サービス他 | 消去または 全社 | 合計 |
| 外部顧客に対する売上高 | 19,572 | 5,661 | 3,325 | - | 28,558 |
| セグメント間の内部売上高 | 647 | 1 | - | △ 648 | - |
| 売上高 | 20,219 | 5,662 | 3,325 | △ 648 | 28,558 |
| 調整前営業利益 (△損失) | 3,501 | 243 | 662 | △ 1,424 | 2,982 |
| (調整) ストック・オプション費用 | | | | | 55 |
| 営業利益 (△損失) | | | | | 2,927 |

単位：百万円

| | 当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日) | | | | |
|-------------------|--|---------------------|-------|-------------|---------|
| | 半導体・ 部品テスト システム事業 | メカトロ ニクス 関連事業 | サービス他 | 消去または 全社 | 合計 |
| 外部顧客に対する売上高 | 26,706 | 6,058 | 4,848 | - | 37,612 |
| セグメント間の内部売上高 | 2,851 | 1 | - | △ 2,852 | - |
| 売上高 | 29,557 | 6,059 | 4,848 | △ 2,852 | 37,612 |
| 調整前営業利益 (△損失) | 1,541 | △ 127 | △ 247 | △ 4,016 | △ 2,849 |
| (調整) ストック・オプション費用 | | | | | 218 |
| 営業利益 (△損失) | | | | | △ 3,067 |

(注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成23年度(2011年度) 第2四半期決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

| | 平成22年度(2010年度) | | | | 平成23年度(2011年度) | | | | |
|-----|----------------|-----|-----|-----|----------------|-----|--------|------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 1Q比 | 2Q累計 | 前年同期比 |
| 受注高 | 308 | 233 | 213 | 336 | 384 | 276 | △28.3% | 660 | 22.1% |
| 受注残 | 276 | 223 | 182 | 296 | 412 | 400 | △3.0% | 400 | 79.7% |

2. 損益

(単位:億円)

| | 平成22年度(2010年度) | | | | 平成23年度(2011年度) | | | | |
|-----------------------|----------------|---------------|--------------|---------------|----------------|-----------------|--------|----------------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 1Q比 | 2Q累計 | 前年同期比 |
| 売上高 | 235 | 286 | 254 | 221 | 268 | 377 | 40.1% | 645 | 23.7% |
| 売上原価 | 119 | 149 | 135 | 108 | 137 | 205 | 48.4% | 342 | 27.5% |
| 研究開発費 | 49 | 54 | 53 | 56 | 58 | 80 | 38.9% | 138 | 33.7% |
| 販売費および一般管理費 | 49 | 54 | 54 | 55 | 65 | 123 | 87.5% | 188 | 83.5% |
| 営業利益 (売上高比率) | 18 (7.7%) | 29 (10.2%) | 12 (4.8%) | 2 (0.7%) | 8 (2.9%) | △31 (△8.2%) | - | △23 (△3.5%) | - |
| 営業外損益 | △2 | △4 | △2 | 3 | △4 | △20 | - | △24 | - |
| 税引前当期純利益 (売上高比率) | 16 (6.9%) | 25 (8.7%) | 10 (4.0%) | 5 (1.9%) | 4 (1.4%) | △51 (△13.4%) | - | △47 (△7.3%) | - |
| 法人税等 | 8 | 7 | 3 | 6 | 1 | △3 | - | △2 | - |
| 当期純利益 (売上高比率) | 8 (3.3%) | 18 (6.3%) | 7 (2.7%) | △1 (△0.5%) | 3 (1.3%) | △48 (△13.0%) | - | △45 (△7.0%) | - |
| 営業利益 (統合関連費用を含まない) | 18 (7.7%) | 29 (10.2%) | 12 (4.8%) | 2 (0.7%) | 16 (6.0%) | 10 (2.7%) | △38.2% | 26 (4.1%) | △44.7% |

3. 財政状態

(単位:億円)

| | 平成22年度(2010年度) | | | | 平成23年度(2011年度) | | |
|--------|----------------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| | 1Q末 | 2Q末 | 3Q末 | 4Q末 | 1Q末 | 2Q末 | 1Q比 |
| 総資産 | 1,873 | 1,830 | 1,832 | 1,803 | 2,252 | 2,289 | 1.6% |
| 株主資本 | 1,475 | 1,382 | 1,374 | 1,381 | 1,369 | 1,276 | △6.8% |
| 株主資本比率 | 78.7% | 75.5% | 75.0% | 76.6% | 60.8% | 55.7% | - |

(単位:円)

| | | | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 1株当たり株主資本 | 825.11 | 797.70 | 792.69 | 797.20 | 790.18 | 736.27 | △6.8% |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|

4. 配当の状況

(単位:円)

| (基準日) | 平成22年度(2010年度) | | | 平成23年度(2011年度) | | |
|----------|----------------|------|-------|----------------|--------|--------|
| | 中間期末 | 期末 | 年間 | 中間期末 | 期末(予想) | 年間(予想) |
| 1株当たり配当金 | 5.00 | 5.00 | 10.00 | 5.00 | 未定 | 未定 |

※現時点では期末の配当については未定です。今後の業績等を勘案し、開示が可能となった時点で速やかに公表する予定です。